

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 6 月 27 日現在

機関番号：34435

研究種目：挑戦的萌芽研究

研究期間：2011～2013

課題番号：23653213

研究課題名(和文)外国人看護師・介護士の国内医療施設就労に向けた健康心理学的支援法の探索

研究課題名(英文) Search of health psychological support system suitable for foreign nurse and caregiver candidates to work in medical facilities in Japan

研究代表者

山田 富美雄 (Yamada, Fumio)

大阪人間科学大学・人間科学部・教授

研究者番号：50183687

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,600,000円、(間接経費) 780,000円

研究成果の概要(和文)：2008年以来、インドネシアとフィリピンから多くの看護師・介護士候補が来日している。本研究の目的は、彼らのメンタルヘルスに、ストレスマネジメント教育研修が及ぼす効果を縦断的に評価することであった。ストレスマネジメント教育は、語学研修所入所直後に実施した健康調査結果を一月後に返却する際に3時間実施した。また語学研修終了直前に再度評価した。

456名の看護師、356名の介護福祉士候補の結果を分析したところ、ストレスはフィリピン人が、ストレス反応と心身症状はインドネシア人が高かった。Webを用いて今でも彼らと連絡がとれ、継続的なメンタルヘルス評価と、緻密なサポートが提供できる体制作りができた。

研究成果の概要(英文)：Many nurses and caregivers candidate has come to Japan from Indonesia and the Philippines since 2008. The purpose of this study was to evaluate longitudinally the effect of stress management training on the health of these foreign workers. We conducted a health survey to them immediately after they were admitted to the language training center. About one month after, we returned their result and did stress management education for 3 hours. We also conducted a health survey again, before the end of language training period, to evaluate the changes in the mental health states.

Analysis of 456 nurse and 356 caregiver candidates indicated the difference in stress parameters between two country. Result shows that stressor is higher in Philippine than Indonesia but stress reaction and psychosomatic symptom are higher in Indonesia than in Philippine. Using the Web service, we can connect them continuously to evaluate their mental health and to give them any support.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：心理学・臨床心理学(健康心理学)

キーワード：外国人労働者 看護師 介護福祉士 ストレスマネジメント コーピング 心身症状 皮膚症状 メンタルヘルス

1. 研究開始当初の背景

日本政府とインドネシアおよびフィリピン政府との間で交わされた経済上の連携に関する協定（EAP）に従い、平成20年度から看護師および介護士候補が来日し、半年間の語学研修の後、病院等医療施設に就労を始めた。筆者は当初から、語学研修の折に心身状態の査定とストレスマネジメント研修を実施し、就労後のストレスへの対処技法をインドネシア語ならびに英語版テキストを配付し、就労に耐える健康心理学的介入づくりを支援してきた。

2. 研究の目的

外国人看護師・介護福祉士候補者のメンタルヘルスに、語学研修期間中に実施したストレスマネジメント教育研修が寄与しているかを縦断的に評価し、最適な健康心理学的支援法を探索することを本研究の目的とした。

3. 研究の方法

ストレスマネジメント教育は、語学研修所入所直後に実施した健康調査結果を一月後に返却する際に、3時間実施した。ストレスマネジメント教育の内容は、ストレス評価票を用いたストレスの構造理解、ストレスとストレス反応の区別、ストレスへの気づきとコーピングによるストレスコントロール、リラクゼーション技法やアクティベーション技法の修得によるストレス反応の自己調整などからなる。

ストレス、ストレス反応、コーピングなどを問う各国語版健康調査質問紙を開発し、評価指標として用い、語学研修所入所直後1ヶ月以内と語学研修終了直前の2度実施した。本研究期間においては、2度目の評価時に、皮膚疾患の有無、石鹸等の使用について追加質問を行った。

分析は、国（インドネシアかフィリピン）、職種（看護師か介護福祉士か）ならびに経過時間（語学研修1ヶ月後か終了間際か）、年度（2008年～2013年度）を独立変数とし、ストレス、ストレス反応、コーピング等の尺度値を従属変数とするものであった。

4. 研究成果

平成23年度は、これまでの成果を踏まえ、語学研修所への入所直後1ヶ月内に、我々の作成した健康調査票をもちいた査定を行い、その結果を外国人看護師・介護福祉士候補にフィードバックするのに合わせて、ストレスマネジメント教育を実施するとともに、語学研修施設終了前にも2度目の調査を行い、半年間の変化を観察した。さらに就労先である医療施設においても継続的に調査を行う環境作りのために、Facebookを用いたWeb支援体制作りを試みたが十分な環境設計ができず平成24年度を迎えた。

平成24年度は、新たに入国し語学研修を受ける外国人看護師・介護士候補に対してこれまでと同様の健康調査を実施し、ストレスマネジメント教育を実施したが、このプログラム自体に若干の改良を加えた。すなわち、健康心理学を専攻する大学院生たちをTAとして配置し、講義中心の研修から体験型中心のプログラムに移行した。すなわち、リラクゼーションではペアリラクゼーションを取り入れ、従来の自律訓練法と漸進的筋弛緩法を用いたものに、他者との協働作業を必要とするものとした。またアクティベーションの指導においては、アイスブレイキングの要素を強め、より楽しく体を動かすことを中心に据えたものとし、「パースデーチェーン」、「ナンバーで集まれ」、「フルーツバスケット日本数字覚えたいバージョン」を導入した。こうした体験型プログラムを適用した効果は、語学研修終了後のFacebookサービス加入者の増加につながった。平成24年度の語学研修の終了直前の健康調査においても、質問項目に改良を加えた。すなわち、皮膚の痒み、皮膚疾患、アレルギー反応などの症状を訴える研修生が多かったことから、これらの原因と考えられる皮膚洗浄習慣、入浴時の石鹸の利用、本国と日本国内との洗剤使用の違いなどを質問項目として加えた。

平成25年度は平成24年度と同様の調査を実施するとともに、これまでの語学研修受講生たちが示したストレス症状について、詳細な分析を行い、その成果をアジア健康心理学会のシンポジウムで報告した。

結果の要約

(1) 456名の看護師、356名の介護福祉士候補について、日本への入国ならびに語学研修所への入所直後1ヶ月のストレス、ストレス反応、心身反応、ならびにコーピング得点を分析したところ、ストレス得点はフィリピン人候補がインドネシア人候補より高かった。しかしストレス反応と心身症状はインドネシア人候補がフィリピン人候補よりも高かった(図1)。また適切な対処法においても、インドネシア人候補がフィリピン人候補より多く使用していた。

Stress parameters for Indonesia and Philippines Nurse Candidates

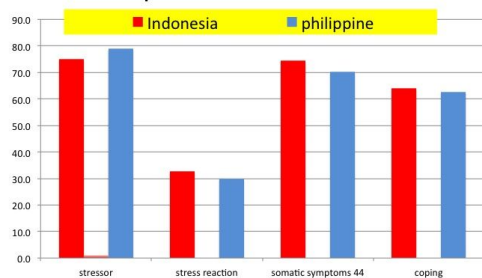


図1 インドネシア人候補(赤)とフィリピン人候補(青)における語学研修所入所1ヶ月におけるストレスサ得点(左端)、ストレス反応(左から2つめ)、心身症状(右から2つめ)、およびコーピング(右端)

(2) 半年間の語学研修期間中に、フィリピン人候補ではストレスは有意に低下したが、インドネシア人候補では逆に増加した。ストレス反応得点、心身反応得点においては、フィリピン人候補は有意に低下したが、インドネシア人候補では変化傾向は小さく、心身反応は逆に増加した。また両国候補とも、ストレスに対する適切な対処法の実行度合いが有意に増加した。

表1 インドネシア人候補とフィリピン人候補におけるストレスパラメータの半年間の変化量(平均±S.D.)。

	インドネシア	フィリピン
ストレス	3.599 ± 1.02	-2.756 ± .98
ストレス反応	-.921 ± .45	-3.352 ± .41
心身反応	2.856 ± 1.25	-7.224 ± 1.16
コーピング	4.666 ± .41	3.358 ± .37

(3) 心身症状の特徴を分析したところ、皮膚の乾燥や痒みなどの症状を訴える率が他の症状を圧して両国候補とも高かった。これは概ね大気の湿度の違いが原因と考えられるが、平成24年度に皮膚症状と石鹸使用との関係を調べた。図2は本国でも石鹸を使っていたかの質問に対する回答カテゴリー別、平均皮膚の乾燥症状得点を、インドネシア人候補とフィリピン人候補別に図示したものである。本国での石鹸使用頻度が高いほど、両国候補とも皮膚乾燥感が高く、その傾向はインドネシア人候補でより顕著であった。

本国で石鹸使っていた → 皮膚の乾き
Did you use soap when you were in your country?

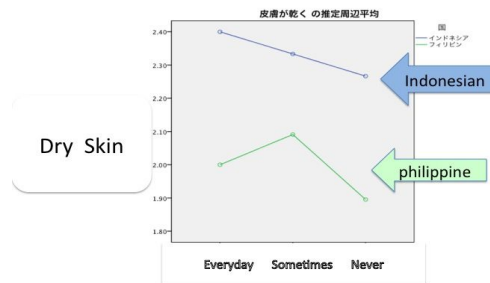


図2 本国で石鹸を使っていたかの質問に対する回答(毎日使用、ときどき使用、未使用)別の皮膚の乾燥症状得点を、インドネシア人候補とフィリピン人候補別に示す。

その他多く訴えの多かった心身症状としては、風邪症状、クシャミなど湿度の低さと低温が原因とみられるもの、および頭痛などストレスが主因とみられる症状が多く訴えられていた。

皮膚のケアよりも、種々のストレスへの適切な対処法が有効とみられたことから、語学研修を終えた後も継続してストレスマネジメントを用いたサポートを行う必要があることが改めて示された。

そこで、Webを用いて看護師・介護福祉士候補者たちと連絡をとりあうために、Facebook上にサポートエリアを設けた。2014年6月現在、300名弱の両国候補が本エリアに登録し、情報の交換を行っている。

(4) 国家試験対策とサポート

Facebookを用いて、継続的にメンタルヘルス評価を実施し、緻密なサポートが提供できる体制作りができたので、その第一歩として、登録メンバーのうち看護師国家試験合格者を対象として面接を実施し、どのようなサポートが必要かを聞き取った。その成果を活かして、ホームページを立ち上げ、国家試験に供する必要情報の提供と、継続的なストレスマネジメント教育のための教材ならびに情報提供を開始している。

今後は、就労先の医療施設で経験するストレス項目や、試験への不安、故郷への思慕などで構成される新たな就労者用ストレスサ尺度を開発し、継続的なストレスマネジメント支援へとつなげていきたい。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計0件)

〔学会発表〕(計 6 件)

Fumio Yamada Stress management education for foreign nurses and caregivers candidate in 6-months language training period before work at Japan medical institution: Our 5-years preventive approach. The fifth Asian Congress of Health Psychology (ACHP 2013), symposium, 2013 年 8 月 24 日, DCC, Taejeon, Korea.

山野洋一・濱田咲子・寺田衣里・山田富美雄 EPA 外国人看護師・介護福祉士候補の喫煙とストレスの関係。第 6 回日本禁煙科学会学術総会、2012 年 11 月 18 日、盛岡(いわて県民情報交流センター)。

山田富美雄 ストレスマネジメント研究の今とこれから(健康心理学の研究が人々の生活に貢献するために何をすべきか～健康心理学の役割を問い直す～)。日本健康心理学会第 25 回大会シンポジウム、2012 年 9 月 2 日、東京(東京家政大学)

山野洋一・寺田衣里・秋葉理乃・山田富美雄 外国人看護師・介護福祉士候補の支援法についてーソーシャルネットワークサービスをういた支援法の模索。日本健康心理学会第 25 回大会、2012 年 9 月 1 日、東京(東京家政大学)

山田富美雄・廣川空美・石川利江・山野洋一 外国人看護師・介護士候補問題を考える、日本健康心理学会第 24 回大会シンポジウム、2011 年 9 月 11 日、東京(早稲田大学国際会議場)

山野洋一・寺田衣里・山田富美雄 外国人看護師・介護福祉士候補のストレスに影響する要因ー本国事前教育の効果についてー。日本健康心理学会第 24 回大会、2011 年 9 月 11 日、東京(早稲田大学国際会議場)

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 件)

名称：
発明者：

権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕
ホームページ等：
<http://www.psychologist101.com>

6. 研究組織

(1)研究代表者 山田 富美雄
(Fumio Yamada)
大阪人間科学大学・人間科学部・教授
研究者番号：50183687

(2)研究分担者
()

研究者番号：

(3)連携研究者
()

研究者番号：